

シーサイドギャラリー2019・夏

8月16日(金)、入野の浜で「シーサイドギャラリー2019・夏」が開催され、約1万人が来場しました。



盛り上がる盆踊り

盆踊りの後には、1千500発の花火が打ち上げられ、夜空に咲いた大輪の花に会場者は歓声を上げました。

佐賀中・大方中合同夢講演会開催

7月25日(木)、タレントのビビる大木さんを講師に迎えた夢講演会が佐賀中・大方中の生徒を対象に行われました。



生徒からの質問に答えるビビる大木さん

将来が見えていなくても落ち込むことはない。流されても、その先でどう花を咲かせられるかが大切だと思う」と話しました。

大木さんは、幕末の歴史や人物に興味を持ち高知県に訪れることが増え、高知県観光特使やジョン万次郎資料館の名誉館長に任命されています。同講演は、生徒らにテレビなどで活躍する大木さんの話を聞いて、刺激を受けてほしいと町人権教育研究協議会学校教育部会が主催し実現しました。

大木さんは生徒代表からの質問にユーモアを交えながら答えたり、ジョン万次郎の人生を例に、「遭難し、外国の船に助けられ世界を見たことで、本人にその気がなくても影響を持つことになった。今、

サーフィン体験授業

町の人口減少対策を目的に始まった「ふるさと・キャリア教育」の一環として、7月12日(金)、田ノ口小学校の5・6年生15名が浮津海水浴場でサーフィン体験をしました。



波に乗る児童ら

25日(木)には、三浦小学校6年生の7名が参加し、サーフィンを楽しみました。

同教室は、児童らが自然の恵みを感じ、黒潮町への愛着を育むことなどをめざし町内にあるサーフショップの協力を得て昨年より行われていました。

児童らは、幡多サーフ道場のブルースさんから砂浜でボードの乗り方などの説明を受けた後、実際に海でのサーフィンに臨みました。田ノ口小6年の藤田りおんさんは、「とても楽しかった。波に乗れた時は爽快だった」と感想を話しました。

JFAなどでしひろば黒潮 by 大方高校

8月12日(月)、土佐西南大規模公園人工芝グラウンドで「JFA なでしひろば黒潮 by 大方高校」が開催され、小中学生26名が参加しました。



指導する小林さん(写真右)

小林さんは、「サッカーだけでなく、何事も楽しんで取り組む、できないことをできるようにチャレンジしてほしい」と話しました。

同イベントは、日本サッカー協会(JFA)が女子サッカー普及事業の一環として行い、来年度より女子サッカー部の活動を本格的に始める予定の大方高校が同事業に登録されたことから実施されました。ゲスト指導者に、平成16年に開催されたアテネオリンピックになでしこジャパンの一員として出場した小林弥生さんが招かれました。

参加者らは、小林さんの指導を受けながらボールを使ったウォーミングアップを行った後、2チームに分かれゲームを行いました。